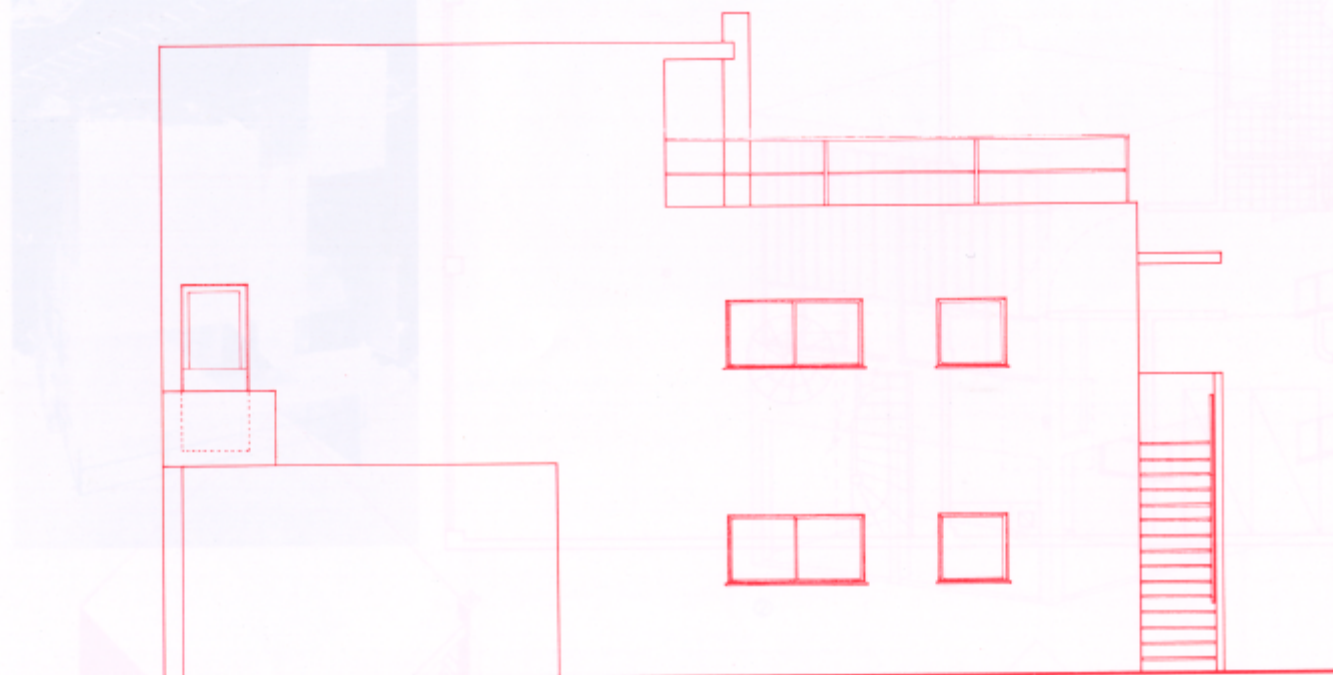
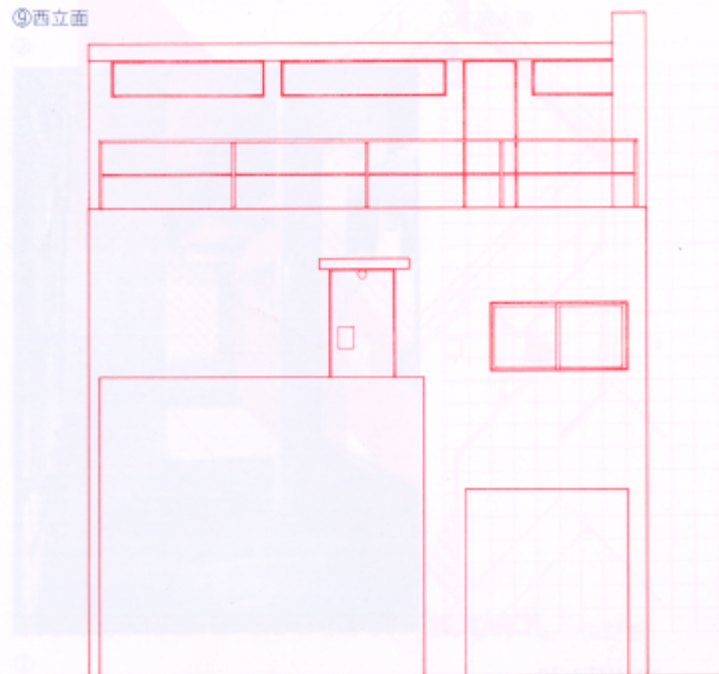
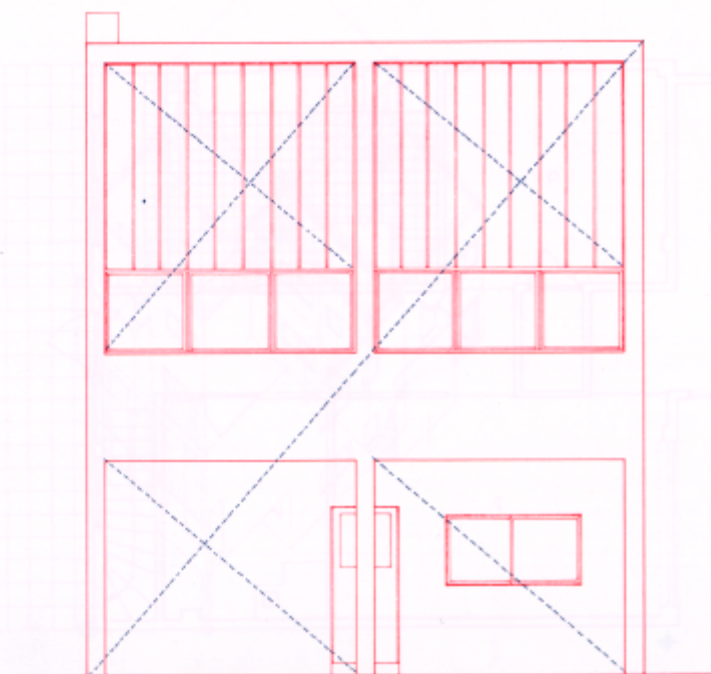




⑨西立面



⑩南立面



⑪北立面

平面

- 2層分（天井高5m）吹き抜けたスタジオブロック(e)と2層積み重ねられた居室のブロックがずれて組み合わせられている。その結果生じた屋上テラスと1階テラスが生み出す対角方向の関係(⑬)。
- 1階(⑦), 2階(⑧)の平面においても、通路の軸に対して対角方向に同量の各部屋が割り出されている。
- 二つのブロックの端部に配された対の階段。1階からスタジオの広がりに入る階段と2階の玄関へ出る階段。対の概念(⑧)。

架 構

- 北面の3本の柱の列は、南側からの通路を確保するために4本に分解している（サヴォイ邸にも見られる変形)(⑦, ⑧中)。

被 膜

- 規 準 線 によって形成された立面(⑨, ⑩, ⑪)。
- 東、西面の2枚の対となった矩形の対角方向の運動(⑨)。
- 画面の端部に開けられたスタジオ(e)の細長い開口。北面を薄い面として漂わす方策。と同時に入口(i)の壁面の突出との対応が感じられる。やはり対角方向の関係(⑨)。
- 同一の開口の単位の配列。